

開催日時	平成 29 年 7 月 27 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
------	----------------------	-----	--------------------------

出席者 (○)	委 員 長：○稲毛恒男 副 委 員 長：○中村輝守 委 員：(部会長) (副部会長) (委員) 低炭素技術部会 ○菅原浩太 ○横山尊重 ×當木裕之 設計新技術部会 ×伊藤耕人 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 (中村輝守) ×石渡規由 ×瀬戸裕正 書記：中村副委員長
------------	---

1. 部会の正副部会長決定
- 低炭素技術部会
部 会 長：菅原浩太 委員
副部会長：横山尊重 委員
 - 設計新技術部会
部 会 長：伊藤耕人 委員
副部会長：鈴木章一郎委員
 - 補助金活用技術部会
部 会 長：中村輝守 副委員長
副部会長：石渡規由 委員
2. 技術部会の委員会に賛助会員の方に参加して頂けるように協力を求める。(8 社)
- 事務局 賛助会担当より連絡・賛助会へ依頼
- ①YKK AP(株)
 - ②ニチハ(株)神奈川営業所
 - ③ケイミュー株式会社 関東・首都圏営業部
 - ④(株)LIXIL 横浜支店 神奈川支社
 - ⑤福井コンピュータアーキテクト(株)関東営業所 横浜オフィス
 - ⑥(株)インテグラル
 - ⑦横浜三協(株)
 - ⑧三和シャッター工業株式会社 首都圏第二事業部 神奈川中央ブロック

次回委員会 8 月 28 日 (月) 15:00～17:00 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

以上

平成 29 年度 第 1 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	平成 29 年 8 月 28 日 (月)		会 場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：○大和田優 書記：稲毛恒男		
	委 員 長：○稲毛恒男		
	副 委 員 長：○中村輝守		
	委 員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ○當木裕之 設計新技術部会 部会長 ○伊藤耕人 副部会長 ×鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 ○中村輝守 副部会長 ×石渡規由		
オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○ケイミュー(株) 花木正蔵 ○横浜三協(株) 田村修 ○ニチハ(株) 加藤武彦 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 ○三和シャッター(株) 神西壮記			
議事進行：稲毛恒男委員長			
1. 大和田副会長より挨拶			
①低炭素技術部会 ②設計新技術部会 ③補助金活用技術部会 の 3 部会が設置されている。 ・特に、①②について、皆さんのご協力をいただきたい。 ・③については、現段階でグループ採択されていない。(申請中) 平成 30 年 12 月まで約 1.5 年で、方向性をまとめていきたい。(30 年 12 月までに成果品) 平成 29 年 12 月 15 日 (統括委員長会) に中間報告をする。			
2. 技術専門委員会規程 (案) を、次回理事会 (9 月 15 日) に諮る事となった。			
3. 設計新技術部会 伊藤部会長より、部会員が 2 名では少なすぎるのではとの質問があった。 →一般会員の中から改めて、部会員を募集するとの返答が大和田副会長よりあった。			
4. オブザーバーは規約上の事で、委員と同様、積極的に参加して頂きたいとの話が大和田副会長よりあった。			
5. オブザーバーより下記の意見等があった。 ・YKK AP (株) : 品川に体感ショールームがある ・ケイミュー (株) : 低炭素に直接結びつくものが無い ・ニチハ (株) : 低炭素に直接結びつくものが無い ・横浜三協 (株) (賛助会副会長) : 9 月 7 日に賛助会定例会が開催されるので、その際に賛助会員に周知して、参加者を募る。			
次回委員会 : 平成 29 年 10 月 2 日 (月) 15:00 ~ 福井コンピュータアーキテクト (株)・YKK AP (株) 2 社のプレゼン			

開催日時	平成 29 年 10 月 2 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：×大和田優 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ○當木裕之 設計新技術部会 部会長 ○伊藤耕人 副部会長 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 ○中村輝守 副部会長 ×石渡規由 オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 低炭素技術部会 ○ユナイト(株) 中嶋秀二 ○セイキ販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 他 1 名様 補助金活用技術部会 ○日本 ERI(株) 村島充裕 寺越健太郎		

1. あいさつ (議事進行、稲毛恒男委員長)

今回参加した賛助会各社の自己紹介

- ・日本 ERI(株) 寺越氏 村島氏が担当
- ・ユナイト(株) 低炭素部会に参加 中嶋氏
- ・横浜菱重(株) 下村氏 三菱電機、主に ZEH
- ・セイキ販売(株) 休憩後参加 坂井氏 断熱、合成木材、内窓の販売

2. 技術専門委員会規程 (案) について

理事会 (9/15) にて承認されたことを報告。

3. プレゼンテーション

- ・福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤氏 建築担当

全国に 29 拠点

3 次元 CAD…ユーザーは設計事務所、工務店、教育機関

木造…アーキトレンド ZERO

非木造…BIM、グローブ 12,000 円/月 使用料 (イニシャル無し) →新橋で体験学習会をしている

3D カタログ…無料で使える JWCAD と連携

人数が一定程度そろえば事務所協会の会議室で講座を開くことも可能。

理屈より実施際に触れて頂き体験することが早道。

暫時休憩

- ・YKK AP(株) 秋山氏

品川体感ショールーム 予約制 1 日 3 回 (実質 2 時間) (現在約 2 ヶ月待ち)

性能の違いを見える化している

建築士会で 6 月に実施、30 数名参加 ZEH 体感できる 5~6 人がベスト

→秋山氏に空いている日を探してもらう。まず技術委員会で見学を考える。

4. 各部会

- ・低炭素技術部会 …YKK AP の体験ショールーム見学
- ・設計新技術部会 …方向性を決めて進めていきたい、手続き的なものは有るか？次回大和田副会長に確認する。
- ・補助金活用技術部会 …具体的な動きなし

次回は YKK AP の日程調整を受けて決定する。

(水、木) を外して調整くんで決める。概ね 11 月頃。

(出来れば YKK AP 体験ショールームの見学を終えてから)

開催日時	平成 29 年 11 月 30 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：○大和田優 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副会長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ×伊藤耕人 副会長 ×鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副会長 ×石渡規由 部会員 ×竹縄光生 オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ×福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 低炭素技術部会 ×コイト(株) 中嶋秀二 ○セ住販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康禎 補助金活用技術部会 ○日本 ERI(株) 村島充裕		

1. あいさつ

2. 各種報告

- ・前回 YKK a p 体験ショールーム見学会のお礼

3. (1) 事業の進め方

1. 設計新技術部会

2. 低炭素技術部会

- ・賛助会を活用して会員向け YKK a p ショールーム見学会
- ・三菱電機の工場見学 (県央ブロックで以前実施) …ZEH、ハウス (大船)
→次回見学会予定 横浜菱住下村さんに日程調整して頂く
- ・2部会の活動は、切り離せない内容なので、両部会合同にて見学会を行う。

3. 補助金活用技術部会…地域型住宅グリーン化事業 (「かながわ e 家」会：代表者は白井会長) 採択された。 いろいろな補助金について会員向けの情報発信をしていく準備をする。

(2) 平成 30 年度予算について

- ・収入 0 円、支出 200,000 円に訂正し 12 月 1 日大和田副会長が提出する。

(3) 12 月 15 日事業報告会について

- ・1 委員会 3 分程度で報告、(パワーポイントなど)
- ・設計新技術部会、低炭素技術部会一体として発表する。
- ・設計新技術部会、低炭素技術部会のリーフレット作成 担当：横山氏
- ・補助金活用技術部会 担当：中村氏
- ・中間報告会用に作成したデータは稲毛委員長へ送り、稲毛委員長より事務局へ提出。パワーポイント化してもらう。

次回委員会日程は「調整さん」にて調整後、決定する。

以上

開催日時	平成 30 年 1 月 17 日 (水)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：×大和田優 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ×伊藤耕人 副部長 ×鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部長 ×石渡規由 部会員 ○竹縄光生 オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 低炭素技術部会 ○ユナイ(株) 中嶋秀二 ○セイキ販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 補助金活用技術部会 ○日本 ERI(株) 村島充裕		

1. あいさつ

2. 各種報告

- ・平成 29 年 12 月 15 日中間報告会の報告

3. 今後の進め方について

- ・勉強会を開いて行きたい。

<各社の意見>

■福井コンピュータアーキテクト

- ・BIM、木造、構造、省エネ→低炭素、3 次元 CAD
- ・支部単位で出来ないか。

■YKK AP

- ・3 月頃に 20 名単位で 3 回／1 日で見学会を開催したい。3 時～5 時であれば見学の後反省会が出来る。

■日本 ERI

- ・政策でやっているが実質参加しているのはハウスメーカーが殆ど。制度説明から各メーカーを紹介してどの様なことが出来るのか全体に繋げて行きたい。
- ・天空率の勉強会などは単体で開ける。

■横浜菱住

- ・賛助会に入っているだけでは仕事に繋がらない。どうしたら会員と賛助会が繋がってイけるか。賛助会フェアなど告知して頂き、会員の皆様に周知して欲しい。

■セイキ販売

- ・昨年、県央ブロックにて断熱材の勉強会を開いた。
- ・勉強会のテーマを決めてほしい。→逆に賛助会の皆さんから何が出来るか提案して欲しい。

■ユナイ

- ・低炭素部会でお墨付きを出して頂ければ各支部に対して営業できる。(屋根防水材)→部会としては難しい

<各意見>

横山委員：賛助会のリストはあるが、何をやっているのか(専門性)分類したリストがあればと思う。

下村 G：賛助会の HP の内容を充実させる。事務所協会 HP の賛助会検索位置を工夫してはどうか。

竹縄委員：県西支部小田原市より初めて参加させて頂いた。今日は皆様の意見を聞いて、追々意見を出していきたい。

次回委員会：3 月 15 日 (木) 15 時～17 時

回りのテーマ：省エネに関する賛助会パッケージ(勉強会) 賛助会フェアのアイディアを出して頂く

開催日時	平成 30 年 3 月 15 日 (木)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：×大和田優 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ×伊藤耕人 副部会長 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部会長 ×石渡規由 部会員 ○竹縄光生 オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 (低炭素技術部会) ×コイト(株) 中嶋秀二 ○セイバ販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 (補助金活用技術部会) ○日本 ERI(株) 村島充裕		

1. あいさつ

2. 各種報告

- ・1 月 29 日三菱大船研究所「ENEDIA ハウス」見学会の報告とお礼

3. 議 題

(1) 省エネに関する賛助会パッケージ (勉強会) 賛助会フェアのアイディア

- ・BELS について内容説明 (日本 ERI 村島氏)
- ・技術専門委員会 賛助会オブザーバー5 社コラボレーション勉強会を開催する。時間は 2 時間。
- ・内容
 - ・BELS 制度と補助金について (日本 ERI 株式会社)
 - ・申請に必要な計算方法について (福井コンピュータアーキテクト株式会社)
 - ・建材について (YKK AP 株式会社、セイキ販売株式会社、横浜菱住株式会社)

(2) 今後の進め方について

- ・賛助会オブザーバー5 社によるコラボレーション説明会を開催。
- ・説明対象者は横浜支部会員向けで取り敢えず開催するが、広く周知して貰うには支部長会などで開催すれば全体的に周知できるのでは。
→ (3/24 に有る横浜支部役員会で相談する)
- ・説明会開催後、
 - ・YKK AP 体感ショールーム特別内覧会
 - ・三菱大船研究所「ENEDIA ハウス」見学会
 - ・福井コンピュータアーキテクトの体験学習 に繋げていきたい。

4. その他

(1) 次回予定

賛助会オブザーバー5 社によるコラボレーション説明会 (BELS 内容説明会)

- ・リハーサル：4 月 12 日 (木) 15 時～ 日本 ERI 株式会社横浜支店 会議室
(技術専門委員会メンバー参加)
- ・本説明会：4 月 23 日 (月) 15 時～ 日本 ERI 株式会社横浜支店 会議室
(横浜支部または支部長向け予定)

(2) 次回委員会：5 月 7 日 (月) 13 時～ 神事協 2 階会議室

以上

平成 30 年度 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 第 6 回技術専門委員会
BELS 制度 ZEH・補助金事業説明会議事録

開催日時	平成 30 年 5 月 7 日 (月)	会 場	一般社団法人神奈川県建築士事務所協会会議室
参 加 者	小澤勝美 梅原義信 廣澤隆志 山口英生 小幡 勸 村松健児	稲毛恒男【委員長】 竹島比佐子 渡部将吾 小渡佳代子 甘日出頼秀 星 光昭	大和田優【担当副会長】 中村輝守【副委員長】 横山尊重【低炭素技術部会】 伊藤耕人【設計新技術部会】 鈴木章一郎【設計新技術部会】 竹縄光生【補助金活用技術部会】 書記：稲毛委員長

1. 委員長挨拶

2. BELS 制度 ZEH 支援事業のポイント (制度・申請について)

日本 ERI 株式会社

- ・ ZEH とは「快適な環境を保ちながら、高断熱化と高効率設備により省エネ化に務め太陽光発電等によりエネルギーを創ることで 1 年間で消費するエネルギー量を正味ゼロ以下となる住宅」を指す。
- ・ 補助制度は所管している行政機関により異なる。定義は各々異なるので確認を要する。
(経済産業省 → ZEH 支援事業 国土交通省 → 地域型住宅グリーン化事業)
- ・ エネルギー基本計画により普及目標が設定され、H25 年に法改正された省エネ基準を強化した評価指標となっている。主な評価基準は以下の通り。
 - ・ 断熱地域区分を 8 地域に区分し、各地域ごとに評価
 - ・ 外皮平均熱貫流率 (UA 値) 熱損失と外皮表面積との割合による評価
 - ・ 平均日射熱取得率 (η_A 値) 建物に侵入する日射量と外皮表面積との割合による評価
- ・ 計算プログラムは国立研究開発法人建築研究所ホームページのウェブプログラムより利用可能。
- ・ ZEH シリーズに新シリーズが追加され、(ZEH+、NearlyZEH+、ZEH-M など) 階や一次エネルギー削減率によりシリーズが分かれ、補助金額が定められている。
- ・ BELS の概要について
五段階による評価→評価機関に申請書を提出→審査→評価書発行 が申請の主な流れ。
- ・ 申請方法には「住宅」「非住宅」「建築物全体」の 3 通りがある。
- ・ フラット 35 などの他制度に利用可能。

3. IT を活用した申請図書作成の手法 (ZEH の取り組み)

福井コンピューターアーキテクト株式会社

- ・ 3DCAD により住宅をモデリング化。モデリング時に断熱・遮熱性能を製品単位で入力すると光熱費のシミュレーションや性能値の可視化が可能。プレゼン資料の作成も多種多様に作成可能。
- ・ モデリング化された資料により申請書に記載が必要な数値の算出、添付資料の作成が可能。
- ・ 耐震化の資料や構造シミュレーションも作成可能。

4. 太陽光・エアコン等 HEMS について

横浜菱住株式会社

- ・ 三菱電機を参考に一次エネルギー消費量計算プログラムに記載する数値等を説明。カタログにも記載する数値が記載されている。
- ・ 冷房、暖房、照明、換気、給湯、太陽光発電設備など機器指定あれば図面化、消費量計算が可能。
- ・ HEMS について製品概略の説明。

5. 樹脂窓の特性 体感ショールームについて

YKKAP 株式会社

- ・ 体感ショールームの展示内容について説明。旧仕様ごとの室内環境を準備し、実際に室内で体感する。
- ・ 要望あればショールーム内をグループ単位で案内が可能。
- ・ 樹脂窓シリーズについて、耐久性や断熱性能に誤解の多い樹脂窓を性能毎に説明。
- ・ 樹脂窓で防火設備対応なども準備されている。 各種 10 年保障に対応している。

6. 高断熱スクリーンについて

セイキ販売株式会社

- ・ 二重ハニカム構造の内部用スクリーン。断熱レールをサッシ枠、柱間に設置することにより高断熱化が可能。
- ・ 外部用スクリーンの提案。サッシ枠上部に設置、窓形状によりブラケット各種あり。
- ・ 外部用スクリーンは生地色により遮光効果に差が生じる。(濃い色ほど遮光効果あり)
- ・ 外部用スクリーンを用いた性能値は ZEH の外皮性能計算には使用不可。

平成 29・30 年度 第 7 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録				
開催日時	平成 30 年 7 月 2 日 (月)		会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：○大和田優 書記： 横山委員			
	企画委員長：○山口英生			
	委 員 長：×稲毛恒男			
	副 委 員 長：○中村輝守			
	委 員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ○伊藤耕人 副部会長 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部会長 ○石渡規由 部会員 ×竹縄光生			
オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 (低炭素技術部会) ○マイト(株) 中嶋秀二 ○セバ販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 (補助金活用技術部会) ○日本 ERI(株) 村島充裕				
1. あいさつ				
2. 今後の進め方について				
■各支部で ZEH 講習会を広めて行きたい。(大和田副会長) 県央ブロック 9 月頃 (問い合わせ) / 湘南ブロック 7 月 12 日 (木) 開催予定				
・支部対象の開催案内の利活用をもっとアピールするには… ・ZEH+は枠が決まっている。9 月以降は補助金なくなっている可能性がある。補助金以外の内容を変更すれば講習に利用出来るのでは。(村島 OS) ・タイムスケジュールが欲しい。基本は 3 時間と考えたい。(鈴木委員)				
■次のテーマ				
・IT 補助金 (山口企画委員長)				
・民泊 (中村副委員長)				
・空き家 ・景観 ⇒具体的な話より進めていく ・地盤、杭について (伊藤委員) …神事協アンケートより 兼業 42% 兼業の方をターゲットに興味を持ってもらう				
・ブロック塀関係 (鈴木委員)				
・軍艦島内の建物の維持、保存をヒントに、県内の歴史的な建物の維持、保存についてのテーマなど (中嶋 OS)				
・アンケートなどによる講習会の検証 →神事協モデルの確立 (秋山 OS)				
・各社単位の単独にならないような、BIM などのコラボレーションでの講習会 (村島 OS)				
・グリーン化事業 …参加事務所が集まらず、今年度のグループ申請は見送った (大和田副会長)				
・アンケートの結果を見れば次のテーマ設定が見えてくるのでは？湘南ブロックではアンケートを行う。(坂井 OS)				
・講習会毎に同じテーマでも対象をしばると良いのでは (下村 OS)				
・座学だけではなく、当初のスタート時の体感ハウス／ショールームなどの体感へと結びつける 青年交流専門委員会の有名建築リノベーションの話と繋がっていくと面白いかも？ (横山委員)				
・神事協モデルで形を残して行きたい →実務へつなげる？成果物？ (下村 OS)				
・現物としての事例があればとても説得力がある (村島 OS)				
・改正基準法→改修絡み、BIM の活用 (大和田副会長)				
・グラフィソフト JAPAN へは小中規模に特化した BIM の講習会、企画の作成を依頼した ⇒福井コンピュータアーキテクトへも企画案作成のお願い				
3. その他				
次回委員会 9 月 3 日、5 日、10 日のうち 1 日にて決定予定。13 時～15 時				

平成 29・30 年度 第 8 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 9 月 10 日 (月)		会 場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：○大和田優 書記：稲毛委員長 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ○伊藤耕人 副部会長 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部会長 ×石渡規由 部会員 ×竹縄光生 オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 (低炭素技術部会) ×コイト(株) 中嶋秀二 ○セ住販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 (補助金活用技術部会) ×日本 ERI(株) 村島充裕		
1. 前回議事録の確認 (第 7 回、7 月 2 日開催) ・ ZEH 講習会、その後の開催状況 1) 7 月 22 日湘南ブロックで開催。22 名参加。約 2.5 時間。 講習時間を 2.5 時間にしたことによって、時間的に余裕が取れて良かったと思います。 質問は有りませんでした (横山委員) 2) 今後の予定 11 月 19 日県央ブロックで開催予定。 相模原支部からもオファー有。(下村 O S)			
2. 次回からの新たなテーマ (前回からの継続) ・「BIM の導入について」をテーマした勉強会の開催。 ・ 白井会長から会長会席上 BIM 導入の必要性について話が合った。 これからは小規模な事務所でも活用出来るようにしていかなければならない。 →BIM 周知の機会を設けるため、グラフィソフトジャパンから勉強会の提案をして頂いた。 ・ 他にも福井コンピュータアーキテクト(株)からも同様の提案が出されている。(大和田副会長) ・ グラフィソフトさんと福井さんにお問い合わせするとして両社で違いはありますか？ (各委員) →基本的に BIM の概念的な説明であれば殆ど変わりはないと思います。 福井の場合には木造にも対応しています。(伊藤 O S) ・ 会場や参加人数、費用は？ (各委員) →神事協会議室をお貸しいただけるとすれば費用は掛かりません。 定員は 20 人から多くても 30 人位 (伊藤 O S) ・ 参加したくても日程が合わなければ参加できない →今からだと準備と周知期間を考えると、10 月は無理、早くても 11 月開催か (大和田副会長) ・ 技術専門委員会の時間と会場を利用して、計 4 回の BIM 講習会を実施する。 →それぞれに 2 回ずつ説明会を開催していただき、11 月 12 日と 2 月 (18～22) を福井コンピュータアーキテクト、12 月と 3 月をグラフィソフトに担当して頂く。(連絡は大和田副会長) ・ 日程や時間帯については企画委員会に伝え、意見調整をした上で最終決定とする。 →調整後、時間帯は、15 時～17 時 (各回共通) に開催予定にて決定した。			
3. 次年度に向けたテーマの絞り込み 日本 ERI より提案されたリストより、当面下記 2 項目を軸に進めていく方向で考える。 ・ 地盤判定基準・補強方法について ・ 建築物省エネ法勉強会			
4. その他 次回委員会・講習会 11 月 12 日 (月) 15 時～ 技術専門委員会 15 時から 講習会 15 時 30 分から			

以上

開催日時	平成 30 年 11 月 12 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：×大和田優 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ○伊藤耕人 副部会長 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部会長 ×石渡規由 部会員 ×竹縄光生 オブザーバー：×YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎 (低炭素技術部会) ×コイト(株) 中嶋秀二 ○セ住販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 (補助金活用技術部会) ○日本 ERI(株) 村島充裕		
	書記：		

委員会内の時間にて、福井コンピュータアーキテクト株式会社を講師に迎え BIM 勉強会を実施した。
 参加者：計 32 名

【勉強内容】

1. BIM によって変化する建築設計の将来像
 - ◆BIM とは
 - ◆IFC とは
 - ◆BIM の主なメリット
 - ◆2D-CAD 設計と BIM 設計の違いと課題
 - ◆国内における BIM の動向 (ユーザ事例含む)
 - ・日本郵政の BIM-FM
 - ・BIM-FM Platform
 - ・個人設計事務所の BIM-FM など
 - ◆建築設計の将来像
2. GLOOBE デモンストレーション
3. 質疑応答
4. 伊藤委員より BIM ソフトの比較講評



平成 29・30 年度 第 10 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	平成 30 年 12 月 10 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者 (○)	担当副会長：○大和田優 委員長：○稲毛恒男 副委員長：○中村輝守 委員：低炭素技術部会 部会長 ×菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 ×當木裕之 設計新技術部会 部会長 ○伊藤耕人 副部会長 ○鈴木章一郎 補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部会長 ×石渡規由 部会員 ×竹縄光生 オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎、原田 (低炭素技術部会) ×コイト(株) 中嶋秀二 ○セ住販売(株) 坂井秀彰 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 (補助金活用技術部会) ×日本 ERI(株) 村島充裕		
	書記： 稲毛委員長		
1) あいさつ 大和田副会長より本年一年間の技術専門委員会に活動に対し感謝している旨の内容が話された。			
2) 各種報告 BIM 講習会について (横山委員) 第 1 回 (11/12) 実施された BIM 勉強会の報告 福井コンピュータアーキテクト (講師：楠田氏) により第 1 回目を実施、参加人数合計 29 名 B I M の概要、2D-CAD 設計と BIM 設計の違い、国内における BIM の動向、BIM 活用で変わる建築設計の将来像、実際に VR 画面の体験など BELS 説明会について (下村 OS) 7/12 湘南ブロックでの実施を最後に本年分の要請はない (補助金も無くなったため)			
3) 議題 (1) BIM 勉強会について (稲毛委員長) 第 2 回 BIM 勉強会は 12/14 にグラフィソフトジャパン(株)を講師に迎えて実施予定 本日現在で 25 名の参加が見込まれている 第 3 回 (来年 2/20 実施予定)、第 4 回 (3/6 実施予定) についてはそれぞれ数人の申し込みが有る。 説明会の中で伊藤委員から BIM 導入について、ソフト選びの基準をどこに置くか？ ソフト選びのポイントや各社 (ソフト) の比較検討すべき事項が分かり易くて良かった (2) 今後の進め方 BIM については来年度も積極的に進めて欲しい、日事連としても精力的に進めると聞いている。 白井会長も個々の事務所へ導入出来るようにしたいとの思いがある (大和田副会長) 来年度は実際に触って確認できる勉強会にして行きたい (伊藤委員) 実際に触れてみないと理解できないのでは無いか？ 例えばどこかの学校を借りて講習会が開ければとの思いがある (伊藤委員) (3) 今後の検討すべきテーマについて 前回から持ち越している今後のテーマ「地盤」がある (中村副委員長) これを賛助会の方々からどのような形で出来るか提案して欲しい あまり間口を広げると委員の数からしてパンクしてしまうのでは無いか？ (鈴木委員) 6 月以降でないと新体制に移行できない。6 月位までは現行のメンバーで (大和田副会長) 新年度になって新たな委員を確保できた段階で再度考えるべきではないか 低炭素、補助金活用、BELS をからめ賛助会から提案を出してもらう。			
4) 次回日程 平成 31 年 2 月 20 日 (水) 13 時 30 分～ (BIM 勉強会 15 時 15 分～ 講師：福井コンピュータアーキテクト)			

平成 29・30 年度 第 11 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録									
開催日時		平成 31 年 2 月 20 日 (水)		会 場		(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室			
出席者 (○)	担当副会長：×大和田優 書記：稲毛委員長								
	企画委員長：○山口英生								
	委員長：○稲毛恒男								
	副委員長：○中村輝守								
	委 員 員：低炭素技術部会 部会長 菅原浩太 副部会長 ○横山尊重 部会員 當木裕之								
	設計新技術部会 部会長 ×伊藤耕人 副部会長 ×鈴木章一郎								
	補助金活用技術部会 部会長 (中村輝守) 副部会長 石渡規由 部会員 竹縄光生								
	オブザーバー：○YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 伊藤修一郎								
	○(株)都市計画地盤研究会 安藤彰彦								
	(低炭素技術部会) ヲイト(株) 中嶋秀二 ○セイト販売(株) 寺澤徹、和田惇二 ○横浜菱住(株) 下村康嗣								
	(補助金活用技術部会) ○日本 ERI(株) 村島充裕								
1. あいさつ									
2. 各種報告									
(1) オブザーバーからの報告事項									
・BELS 説明会について									
予定が延期されていた県央ブロックでの開催が 3/20 に決定した。(下村 OS)									
・前任者退職に伴う新担当者紹介									
セイキ販売(株)の前任担当者坂井秀彰氏が退職。後任に寺澤氏 (正)、和田氏 (副) 寺澤氏が来られない時は和田氏が対応。必ずどちらか出席できるようにします。(寺澤 OS)									
・前回議題になっていた今後の検討すべきテーマに沿って、今回から地盤関係のオブザーバーとして(株)都市計画地盤研究会の安藤彰彦氏 (賛助会会長) が参加。(下村 OS)									
・福井コンピューター伊藤氏が転勤 (4/1 付、赴任地長野) 後任に原田氏。鎌田氏 (本日VR担当) も後から参加予定。									
3. 議題									
(1) 今後の進め方について									
・地盤について									
1) 現在逗子で店舗併用住宅 (蕎麦屋) の建て替えが有り、道路 (搬入路) が狭いことから、表層改良や翼杭 (鋼管杭) の検討を行い、最終的に 300Φ (翼径) 約 30 本の施工を予定している。									
鋼管杭のメリットとして高止まりになった場合でも切断できる。									
2) 川崎の植木屋さん (白井会長の兄) 建て替え計画が有り表層改良予定。									
この様な予定が有るので見学会が出来ればと考えている。(安藤 OS)									
・いきなり見学会だと現場を見ただけで何となく解った気になって帰ってくる事が多い。									
最初はケーススタディーで、様々な工法の比較検討や工法比較の決定要因などの説明をして頂くほうが良いのでは? (山口企画委員長)									
・本会の会員向けには比較的低層の建物 (3 階建て) ぐらいの地盤スタディーが良いのでは?									
表層改良、柱状改良、翼杭等の比較を紙芝居的に話し頂くと分かり易いし、最も興味があるところではないだろうか、出来れば安藤会長に講演をお願いできるとありがたい (稲毛委員長)									
・地盤に絡めて柱状図の見方やサウンディング、スウェーデン式の見方 (N 値換算) や信憑性など地盤全般の説明が分かり易いのでは? (中村副委員長)									
・スウェーデン式の場合安全率を見て 0.8 掛け (80%評価) している。(安藤 OS)									
・確認検査機関とすれば出てきたものを見るだけ (村島 OS)									
・地盤に絡め ERI で審査方法等の説明お願いしたい。(中村副委員長)									

- ・出来れば次回の委員会にタタキ台を示していただけると助かります。(稲毛委員長)

- ・ B I Mについて

- 1) 次回以降の進め方について

- ・新横浜まで来ていただければ B I M の体験学習ができる (伊藤 OS)

- ・伊藤委員からも前回の委員会で同様の発言があり、新年度で伊藤委員が所属している専門学校を使って体験版 BIM 学習が出来る可能性を話していた。(本日伊藤委員欠席)
次回以降再度委員会で議論したい (稲毛委員長)

- ・本日第 3 回目の説明会、参加者 21 名予定→4 名欠席

- ・開会のあいさつ
稲毛委員長

- ・司会
山口企画委員長

- ・ B I M の比較講評
山口企画委員長

時間がショートしたため、GROOVE の長短を中心に講評、ARCHICAD は次回へ持ち越し。
質疑) Q : 様々な機械などを部品化する予定はあるか？

A : 必要に応じて順次開発していく。

Q : LOD(Level Of Detail)の低い方は意味があるのか

A : 手分けして図面を作る場合などで、LOD を決めて進めないと同じ図中に
詳細度の異なる部分が混在してしまう。社内で LOD ルールを決めて進めていく。

Q : パソコンのスペックはどれくらいのものか

A : CPU は i7 以上のものでないとダメ、グラフィックボードは GEFORCE(NVIDIA 社)
などのグレードの高いものが必要。
メーカーパソコンだと 15～20 万円、BTO パソコンで 10～15 万円くらいする。

- ・閉会あいさつ
山口企画委員長

4. 次回日程

技術専門委員会 4 月 16 日 13 時 30 分～15 時 企画委員会 15 時～17 時(参考)